

事業概略書

| | |
|------------|---|
| 事業名 | 精神障害者のピアサポートを行う人材を育成し、当事者の雇用を図るための人材育成プログラム構築に関する研究 |
| 事業目的 | 近年、我が国においてもピアサポートの活動が活発になってきている。精神障害当事者であるピアが精神障害者の生活支援を行うために雇用される実態も報告され、活動の有効性が指摘されてきている。しかし、ピアが職業人として働くにあたっての研修や要件は不明瞭なままである。そこで米国においてピアサポートスペシャリストの認定制度があり、研修プログラムも確立されていることから、その内容を参考に研修プログラムの開発を行うこととした。研修を実施し研修プログラムの効果測定を行うと共に、ピアを雇用している事業所の人材育成方法と待遇等の実態を明らかにする。 |
| 事業概要 | マディソンモデルの米国ウィスコンシン州から専門職 1 名とピアスペシャリスト 1 名を招聘し、米国の研修テキストの一部を使用して専門職とピアを対象とした東京研修を 5 日間実施。この受講者によって北海道帯広市及び千葉県千葉市において伝達研修を 3 日間ずつ実施した。受講者に対し事前事後にアンケート・面接調査を行い分析、加えてピア雇用事業所に対して調査・ヒアリングなどを行った。研修では、リカバリー・バウンダリー・エンパワメントなどについて学ぶことができた。加えて米国ではピアスペシャリストの認定制度がありピアの雇用実態などの情報が得られた。 |
| 事業実施結果及び効果 | 研修受講者は専門職も含めて 108 名。ピアサポーター（スペシャリスト）の人材養成に関し、本研修は基礎研修プログラムとして有効と判断した。精神障害当事者（ピア）が自らのリカバリーした体験をもとに精神障害者をサポートすることの意義は大きい。退院促進事業などにおいてチームの一員としてピアが雇用されるためには、リカバリー・バウンダリーなどの講義・演習・グループワークなどの研修が必要である。現に雇用している事業所調査でも人材育成体制はほとんどなく、必要性を感じながらその方法内容がわからないと言う。ピア専門職として雇用されるためには一定の知識・規範などについて学ぶ必要があり、本事業のプログラムは基礎研修として有効である。 |
| 事業主体 | 〒080-0025 北海道帯広市西 15 条南 16 丁目 2-4 特定非営利活動法人十勝障害者サポートネット TEL : 0155-25-5987 E-MAIL : supportnet-obihiro@ymail.plala.or.jp |

- (注) 1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。